

劇場の わがままな 歌子たち



LE CONVENIENZE
ED INCONVENIENZE
TEATRALI G.DONIZETTI

ニュープロダクション
総監督/折江忠道 General Artistic Director
Tadamichi ORIE
オペラ全1幕(字幕付き原語(イタリア語)上演)
Opera in 1 Act in Original Language

MAMMA MIA!!!
OH MIO DIO...

指揮: 時任 康文 Yasufumi TOKITO
演出: 松本 重孝 Shigetaka MATSUMOTO

	4/22	4/23
ダリア (プリマドンナ) Daria	坂口 裕子 Yuko SAKAGUCHI	中井 奈穂 Nao NAKAI
プロコロ Procolo	久保田 真澄 Masumi KUBOTA	小野寺 光 Hikaru ONODERA
アガタ Agata	押川 浩士 Hiroshi OSHIKAWA	三浦 克次 Katsuji MIURA
ルイジア (第二ソプラノ) Luigia	中桐 かなえ Kanae NAKAGIRI	岡田 美優 Miyu OKADA
グリエルモ (劇場歌手) Guglielmo	持木 弘 Hiroshi MOCHIKI	所谷 直生 Naoki TOKORODANI
ピペット (専属歌手) Pipetto	吉村 恵 Megumi YOSHIMURA	高橋 未来子 Mikiko TAKAHASHI
ビスクロマ (作曲家) Biscroma	大石 洋史 Yoichi OISHI	鶴川 勝也 Katsuya TSURUKAWA
チェザレ (台本作家) Cesare	和下田 大典 Daisuke WAGETA	月野 進 Susumu TSUKINO
インプレザーリオ (興業主) Impresario	坂本 伸司 Shinji SAKAMOTO	相沢 創 Hajime AIZAWA
ディレクター・デル・パルコシェニコ (総監督) Direttore del Palcoscenico		豊嶋 祐寛 (両日) Yuichi TOYOSHIMA

合唱: 藤原歌劇団合唱部 Fujiwara Opera Chorus Group
管弦楽: テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ
Orchestra del Teatro Giglio Showa

2023 4/22 sat 土 14:00 開演 (両日)
4/23 sun 日 [13:00開場] 上演時間: 約2時間
各日とも 13:15 から作品解説を致します。

テアトロ・ジーリオ・ショウワ

【小田急線「新百合ヶ丘駅」南口より徒歩4分 昭和音楽大学南校舎内】
S席¥14,000 / A席¥11,000 / B席¥8,000 / C席¥4,000 (税込)

◆ヤング・フレッシュマンチケット: A・B席半額 (25歳以下/枚数限定)
◆障がい者割引: S・A・B席20%割引 (要お問い合わせ/枚数限定)
※割引チケットにつきましてはお電話のみの取扱いとなります。

【お問い合わせ・予約】 日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874
(平日10:00~18:00) <https://www.jof.or.jp>

CAST

【チケット販売所】
 ■チケットぴあ <https://t.pia.jp>
 ■イープラス <https://eplus.jp>
 ■アルテリッカしんゆりチケットセンター 044-955-3100
<https://www.artericca-shinyuri.com/>

【窓口販売】
 ・川崎市アートセンター [10:00~17:00/毎月第2月曜を除く 但し祝日の場合は翌日]
 ・新百合トウェンティワンホール [10:00~17:00]
 ・昭和音楽大学 南校舎 [10:00~18:00] (12:00~13:00及び2.2[木]. 3.10[金]. 土・日・祝を除く)
 ・マイタウンチケットセンター 新百合ヶ丘マブル「写真工房」内
 [平日 9:00~19:00. 土・日・祝 10:00~19:00/毎月第3水曜を除く]

劇場のわがままな可哀な歌手たち

藤原歌劇団公演
G.ドニゼッティ



ニュープロダクション オペラ全1幕(字幕付き原語(イタリア語)上演)

華やかな舞台の裏側で繰広げられる真実!?

わがままな歌手たちと

ステージママによる、^{コメディ}ドタバタ喜劇

藤原歌劇団2023/24シリーズの幕開けは、ガエターノ・ドニゼッティ作曲のオペラ「劇場のわがままな歌手たち」を、第15回を迎える川崎・しんゆり芸術祭「アルテリッカしんゆり2023」参加公演としてお届けします。

本作は、別名「ヴィーヴァ・ラ・マンマ Viva la mamma」というタイトルで知られ、作曲家としてまだ駆け出しの頃のドニゼッティが、当時の劇場界の裏側を風刺して書いた作品です。ダリア(プリマドンナ)を演じるのは、坂口裕子(4/22)と中井奈穂(4/23)の二人のソプラノが務めます。ダリアの夫プロローコには、バスの久保田真澄(4/22)と小野寺光(4/23)、そしてマンマ・アガタを演じる二人のバリトンには、押川浩士(4/22)と三浦克次(4/23)を配しました。その他、歌唱演技を兼ね備えた藤原歌劇団を代表する歌手たちがコメディ・ア・デッラルテ(即興喜劇)のタッチで個性的かつ滑稽に描かれた音楽の世界で物語を展開させていきます。

指揮の時任康文が、テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラを牽引、演出はベテラン松本重孝が務めます。今回は、1831年にナポリで上演されたバージョンをもとにしたクリティカル版を中心として、さらに他の上演版のいくつかの曲も挿入したオリジナルバージョンで、全1幕として上演します。抱腹絶倒の公演に、どうぞご期待ください。



STORY

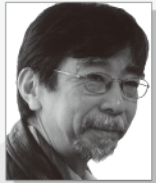
劇場に隣接した広間で、歌劇《ロモロとエルシーリア》の稽古が行われ、プリマドンナが自信たっぷりにアリアを歌いひけらかす。そこに第二ソプラノの母親アガタがやって来て、いつもの如く娘のために出しゃばり始める。ロモロ役は降板し、その代役を(昔スカラ座の歌手だった?)アガタがすることに。しかしテノールはアガタの歌唱の酷さに、楽譜を破って出て行ってしまふ。今度はテノールの役を、プリマドンナの夫プロローコが歌うことに。

勝手ばかり言う歌い手たちを強制的に劇場に連行し、ようやく舞台稽古が始まるが、代役のアガタとプロローコの場面は散々なことに。その時、上演取り下げの知らせが入る。公演が中止…!?報酬をあてにしていたツケの支払いをどうするか、それぞれ思案するのだが、さてさて結末やいかに…!

©yamaguchi



指揮
時任 康文



演出
松本 重孝

関連コラボ企画!!!

テアトロ・ジューリオ・ショウワの向かいにあるレストラン「リストランテ イル・カンピエッロ il campiello」で、オペラにちなんだ料理が堪能できるコラボ企画を実施します!ぜひ、目と耳と舌で!?『劇場のわがままな歌手たち』をお楽しみください!

CHE BUONI...

Staff

美術:増田寿子 / 衣裳:前岡直子 / 照明:成瀬一裕 / 舞台監督:菅原多敢弘
合唱指揮・副指揮:糸原裕介 / 副指揮:玉崎優人 / 演出助手:手塚優子

©Yoshinobu Fukaya



坂口 裕子



久保田 真澄



押川 浩士



中村 かなえ



持木 弘



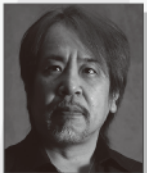
吉村 恵



大石 洋史



和下 田 大 典



坂本 伸 司



豊嶋 祐 壺

©Yoshinobu Fukaya



中井 奈 穂



小野 寺 光



三浦 克 次



岡田 美 優



所谷 直 生



高橋 未 来 子



鶴川 勝 也



月野 進



相沢 創

©studio titto

NPO法人日本音楽生涯学習振興協会は、藤原歌劇団・日本オペラ協会の本公演を応援しています!

日音協会では、地域住民のための生涯学習『童謡コーラス』『みんなの音楽会』の2つの支援事業を推進しています

TV『みんなの音楽会テレビ』 毎週日曜朝(テレビ神奈川 10時00分/テレビ埼玉 10時15分)好評放送中!
レギュラーコーナー「みんなのオペラ」では、日本オペラ振興会の公演や歌手をご紹介します。